

平成29年度

文学講演会

主催：公益社団法人 上伊那教育会

◇ 日時：10月21日（土）

午後 2:00～4:00（受付 1:30～）

* 入場無料

◇ 場所：上伊那教育会館 講堂

（いなっせ4階）

講師 堀井 正子 先生
（近代文学研究家）



< 演題 >

芥川賞の源流

— 森鷗外こくらの小倉時代 —

東京から北九州小倉へ、この転勤を左遷と感じた鷗外だったが、心を切り替え、仕事に励み、余暇時間は自分をひとまわり大きくするために、フランス語を習い、唯識論とドイツ語の交換学習や、史跡を訪ね…。小倉の青年田上耕作は、鷗外の小倉生活を描いた小説に心ひかれ、紛失した鷗外の「小倉日記」復元に挑んだが…。松本清張が芥川賞を受賞した「或る『小倉日記』伝」は、この青年をモデルとして誕生したものです。そんなお話をしたいと思います。

堀井正子 先生 プロフィール

千葉県生まれ 東京教育大学文学部卒業
高校教員。短大、長野高専、信州大学、中国の武漢大学等で講師を勤める。

現在、県カルチャーセンター、八十二文化財団教養講座の講師、信越放送ラジオ「武田徹のつれづれ散歩道」にレギュラー出演中。信濃毎日新聞「クレソン」の「ことばのしおり」の執筆等を担当。

主な著書に「ふるさとはありがたきかな——女優松井須磨子」「戸隠の絵本」「源氏物語 おんなたちの世界」「ことばのしおり」「ことばのしおり 其の式」「出会いの寺 善光寺」など。
現在 長野市在住

お問い合わせ先：公益社団法人上伊那教育会 事務局

電話 0265-72-3416